

令和7年度「市町村長の災害対応力強化のための研修」の開催

防災課

出水期を迎えるにあたり、消防庁では「市町村長の災害対応力強化のための研修」を以下のとおり開催します。災害対応に万全を期すためにも、積極的な受講をお願いします。

1. 研修の概要

市町村長が、災害における重要な局面で、的確かつ迅速な判断や指示を行えるよう、市町村長の災害対応力の強化を図るための研修です。

震災及び風水害をテーマに、研修指導員と「1対1」で、発災時の初動対応など、それぞれの局面における必要な対応や意思決定について、シナリオ非提示型の実践的なシミュレーション訓練を対面又はオンラインにて実施します。

なお、研修の最後には、市町村長相互の意見交換の時間を設ける予定です。

【開催時期等】（予定）

前期：5月下旬から6月頃（7回開催）

後期：11月頃（5回開催）

※12回開催のうち、1回を選択して受講。

（各回とも半日間の開催を予定。また、12回の内訳としては、対面を2回、オンラインを10回設ける予定。）

【対象者】

全国の市町村長240名（各回20名×12回）

【局面ごとの必要な対応や意思決定の例】

- ・市町村の災害対応体制の確立
- ・避難情報の発令判断と伝達
- ・大規模災害発生直後の被害状況の確認
- ・マスコミ対応

【募集時期】

4月（前期）・9月頃（後期）

2. 研修実績

■ 受講人数

- ・平成30年度 50名（対面形式）
- ・令和元年度 161名（対面形式）
- ・令和2年度 116名（オンライン形式）
- ・令和3年度 118名（オンライン形式）
- ・令和4年度 158名（オンライン形式）
- ・令和5年度 189名（オンライン形式）
- ・令和6年度 206名（対面、オンライン形式）

■ 令和6年度研修参加者の声

- ・自然災害が発生した際に危機管理としてどこまで対応するか、瞬時に何を判断し指揮を取るのか、その先まで考えて行動をとることは非常に大切で、様々なことを想定し、職員とともに計画を立てることの重要性を認識した。
- ・首長としての責任の重さを再確認した。
- ・災害の警戒段階から発災後の対応について判断が求められる研修内容であり、迅速で的確な判断が必要となることを体感できた。



【過去の研修の様子】
（上段：対面開催 下段：オンライン開催）

問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課 防災調整係
TEL：03-5253-7525